

会の名前に対する私の考え

練馬区 治田桂四郎

もし、何もなければ、私も会の名前を変えない方がいいと思う。しかし次の理由で変えた方がいいと思う。

〔理由1〕 昨年の都議選の時に、当会で林氏（民主党）、根本氏（民主党）、猪塚氏（ネクスト）、六角氏（ネクスト）の4人の方を推薦したときに大前さんから、平成維新を実現する都民の会で上記の様な推薦をすると自分が、それをしているとマスコミが誤解するので、名前を推薦の時だけでも変えてもらえないかとの申し入れが、口頭で江頭（当時の代表）にありました。事実、あの時に江頭さんから副代表に変えたらどうかと相談が有りました。副代表（杉原、治田、山崎、阿部、小枝）は、それは、できないと断り、もしそれを本当に検討するなら、大前さんから其の申し入れを書類でもらって頂けないかと江頭さんに迫りました。そこで、江頭さんは、大前さんに一切のお答えをしない事にした様です。

その後、つい最近になって、大前事務局の小林さんから、大前さんから平成維新を実現する都民の会は、生活者通信を見る限り、民主党に偏っている。これも大前さんが囂んでいると思われるので、そのことが、ガラポン放送（大前さんが中立性を求められている）の出演に影響するので、名前を変えて頂けるとありがたいとの相談が有りました。

この事から、私は、筋論では、変える必要はないと思うが、大前さんとの関係を考えて変えた方がいいと思う訳です。

〔理由2〕 山崎副代表他の方が、平成維新を実現する都民の会は名前がよくない。名前を変えた方がいいとの意見が出始めました。新たに会をPRするときにもしくいと。

私が、変える事を提案し、且つ、変えた方が、言いたい理由は、以上です。

私は、大前さんの示唆してくれたもろもろの考え方は、非常に貴重で、捨てる必要はないと思いますと同時に大前さん個人にこれからも依存する必要はないと考えます。いい意味で自立した会に進展したと考える次第です。

ですから、情報を十分に把握した上で、会員の意思を確認し、3分の2以上の意見に皆が、従うべきと思います。大事なものは、中身としての活動の方です。決まった名前前で、行動目標に向かって、頑張りましょう。私としては、この件は、年内に決着させたいと思っています。既に私は、会則改定案を示させて頂いていますが、それは、因みに次の通りです。

〔提案理由〕

1. 平成維新という用語が大前研一氏と関わりが深く、会の活動が、大前研一の直接の指導の下に行われているとの誤解を受ける。この事は、会にも大前研一氏にもマイナス。
2. 平成維新の持つ響きが、右翼的に感じる人々がいる。
3. 実際に知らないうちに大前研一氏に依存しては、いないかとの反省がある。本来、何事も自分で自分達で考え、行動するのが、当然である。真に自立するために。

以上の理由で下記の会則の改定を提案する。

〔改定案〕

1. 第一章第2条（名称）本会は、生活者主権都民の会（通称：都民の会）と称し、その活動拠点を東京に置く。（代表の住所は、東京、千葉、埼玉、神奈川でも可）。
2. 第二章第3条（目的）政治の主権を官僚から生活者に取り戻す。そのための政策提言や行動を目的とする。

KANプロジェクト街頭ビラ配りに参加しましょう！

（敬称略）KANプロジェクト特別委員会委員 杉原健児

8月16日（日）16:00 前、池袋西口タクシー乗り場に、小俣一郎・澤井正治・白瀬武美・杉原健児・長妻謙三郎・治田桂四郎・藤本さんじ、の7人が三々五々集った。「菅直人を首相候補に指名しましょう！」と通行人に声を掛けながら、ビラを配る。真夏の太陽が照りつける、うだるような暑さの中、通行人も疲れ切っている様子で、反応はいま一つ。

それでも、たまには話し掛けてくる。「私も皆さんを応援してます」「ご苦労さん」と。FAX用紙にその場で署名してくれる人も居る。この暑さにし

ては、まあまあの手応えだろう。

1時間余りの暑さの中での奮闘で喉はからから。早速、近くのお店でビールの乾杯。その美味さと快感は最高だ。後は、本日の成果と諸々の政治談義に華を咲かす。特に、小俣氏のKANプロジェクトに対する期待と情熱には、みな圧倒される。

★今後の予定は、次回8月30日（日）。その後は自分の間、毎週日曜日 16:00~17:00 同じ池袋西口で実施します。大勢の参加をお願いします！